

## ～YAって何?～

YA(ワイエー)とはYoung Adult(ヤングアダルト)の略称です。主に、中学生・高校生を中心とした10代の「子どもでも大人でもない世代」を指した(若い大人)という意味の言葉です。この時期は、体だけでなく心も育つ大切な時期です。読書が一番必要な時期ともいえます。だけど、児童書だと幼すぎるし、一般書だと難しくて読む気にならない…。そんな世代に向けて、和光市図書館には「YA図書」を集めた(YAコーナー)があります！小説や職業、進学、料理、スポーツ、電撃文庫などの人気ライトノベルも！！ぜひ、自分だけの一冊を探しに、図書館に来てみてください。

『YA通信』は、中高生向けの情報を発信していく図書館情報紙です。3月(春)・6月(夏)・9月(秋)・12月(冬)の年4回発行します。今回は課題図書やおすすめの本を紹介しています。ぜひ読んでくださいね♪



©和光市



←和光市図書館 Twitter  
QRコード

## 「中高生の自習室」開放について

本館  
分館

中学生・高校生が落ち着いて学習できる環境を整えるため、試験前の週末、会議室を自習室として開放します。(ただし、図書館事業で使用していない日に限ります。)

開放日・時間帯は会議室を開放する週に、twitterでお知らせします。また、開放日は、図書館入口に案内を掲示しますので、ぜひご利用ください。(予約不要)

図書館は、勉強(学習)する生徒を応援します！



本館では、新たに窓際5席を”中高生優先席“としました。勉強に集中したいとき、ぜひご利用ください。

図書館では中高生向けの資料を揃えた YA コーナーを設置し、おすすめの本を展示しています。気分転換に足を運んでみてはいかがでしょうか。



新着漫画は、本館のカウンター置き資料です。お借りになりたい方は、カウンタースタッフにお声がけください。



オ

ス

ス

メ

の

一

冊



## 本館所蔵のオススメ本①

### 『雨にシュクラン』

こまつ あやこ // 著 講談社

資料コード:12146525 分類:Y913

憧れの高校に合格し、書道部に入った真歩<sup>まほ</sup>。しかし、家族の事情で引っ越すことになり、せっかく入った憧れの高校を辞めることに。

その後、真歩は引っ越し先で図書館の宅配ボランティアを始めます。そして宅配先で「アラビア書道」というアートと出会い……。

主人公の真歩が新しい環境で人との出会いを通して一步一步成長していく、心温まるお話です。

ぜひ読んでみてくださいね。



## 本館所蔵のオススメ本②

### 『香君』(上・下)西から来た少女・遙かな道

上橋 菜穂子 // 著 文藝春秋

資料コード:12153762、12145022

分類:Y913 //1(上)

資料コード:12153763、12145023

分類:Y913 //2(下)

「香りの声」を聞くことができる少女アイシャは奇跡の稲と呼ばれるオアレ稲に秘められた謎と向きあい立ち向かっていきます。

目に見えない香りの世界を感じファンタジーとしても面白いですが、植物の不思議や現代の食糧問題、農業や政治について知りたくなる作品です。

この夏は、上下巻の長編に挑戦してみませんか。





オ

ス

ス

メ

の

一

冊



## 分館所蔵のオススメ本①

『頭のなかには何がある？』脳をめぐる15の疑問  
 ピエルドメニコ・バッカリアリオ // 著 フェデリコ・タッディア // 著  
 太郎次郎社エディタス  
 資料コード:52016258 分類:Y491

なんとなく謎めいたイメージの器官・脳。

「自転車にしばらく乗らない時期があっても、いざ乗ってみるとちゃんと乗れるのはなぜ？」

「毎日の通学、道順を意識しなくてもちゃんと学校に到着するのはなぜ？」

「脳がものごとを覚えるにはひまな時間が欠かせないって、ほんとう？」など、15のテーマで脳の働き方を解説。脳の不思議に触れてみませんか。



## 分館所蔵のオススメ本②

『笹森くんのスカート』  
 神戸 遙真 // 著 講談社  
 資料コード:52016357 分類:Y913

ジェンダーフリー制服が導入された高校を舞台とした青春連作小説。夏休み明け、スカート姿で登校してきた、クラスの人気者の笹森くん。笹森くんのスカートで巻き起こる文化祭までの出来事を、4人の視点と笹森くんの視点から描きます。

恋や見た目、自分らしさについて。自分だったらどう思うかな？と考えながら読んでみてください。



中学生

スクラッチ  
歌代 朔 // 著 あかね書房



コロナ禍で「総体」が中止になったバレー部キャプテンの鈴音。同じく「市郡展」の審査が中止になった美術部部長の千暁。しかし千暁は出展作「カラフルな運動部の群像」を描き続ける。そんな千暁のキャンバスに鈴音が墨を…。

アップステージ  
シャイなわたしが舞台に立つまで  
ダイアナ・ハーモン・アシャー // 著 評論社



シーラの学校ではミュージカル上演の企画が持ち上がっていた。「出てみたい。」と思っていたシーラだったが内気な性格が災いし、あと1歩が踏み出せない。そんなシーラに先生と友達は、ミュージカルのオーディションを受けることを強くすすめる。

人がつくった川・荒川  
水害からいのちを守り、暮らしを豊かにする  
長谷川 敦 // 著 旬報社



首都圏をつらぬき、流域に約1000万人が住む荒川。荒川は江戸の繁栄を支えてきた。荒川の歴史と流域の人々の暮らしの変化をたどりながら、地球温暖化が原因とされる近年の大規模水害をどう防ぐかまで、荒川の過去・現在・未来を追っていく。

高校生

ラブカは静かに弓を持つ  
安壇 美緒 // 著 集英社



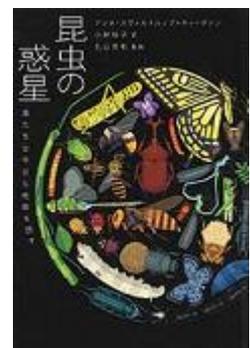
橘はチェロ教室からの帰り道にある事件に遭遇して以来、心を閉ざして生きてきたが、上司から音楽教室への潜入捜査を命じられる。それは著作権法における演奏権を侵害している証拠をつかむためだった。

タガヤセ!日本  
「農水省の白石さん」が農業の  
魅力教えます  
白石 優生 // 著 河出書房新社



現役官僚YouTuberとして活躍する著者が、現在の最新の日本の農業から未来の日本の農業までを語りつくす。実はすごい日本の農産物の話等、日本の農業という身近なことなのに知らなかった話がいっぱい。

昆虫の惑星  
虫たちは今日も地球を回す  
アンヌ スヴェルトルップ＝  
ティーゲソン // 著 辰巳出版



子煩悩なハサミムシ、水中で音楽を奏でるミズムシ、食品や日用品でいつもお世話になっているミツバチ…。ノルウェーの女性昆虫学者が奇妙で面白い昆虫たちの世界を紹介し、昆虫と人とのかわりを取りあげる。